

～アートとデニムの祭典
「KOJIMA BLUE International Art Festival」2014
ジーンズストリートフードコート～

ジーンズやデニム製品に関わる地域の市民団体やアーティスト、クリエイターの活動を空き店舗等で紹介するとともに街歩きを楽しんでもらうために、街区内に「食べ歩き」のための屋台や休憩スペースを設け、音楽ライブなども加えて滞在時間の延長と回遊性の向上を図った。

所在地：岡山県倉敷市児島味野4047-9
TEL：086-470-5056 FAX：086-470-5288
URL：<http://jeans-street.com/>
組合員数：27名
商店街の類型：広域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

当組合は、JR児島駅から南へ徒歩で15分の「味野商店街」のストリート地区に出店するジーンズ関連店舗32店を組合員とする専門店型の商店街組織である。当地は繊維産業が盛んな地域で、かつては学生服の7割を生産し、現在はジーンズの街として有名であり、味野商店街はこうした繊維産業に勤務する人たちに食品や雑貨を提供して栄えていた。しかし、昭和の終わり頃から空き店舗が目立ち始めたため、「国産ジーンズ発祥の地」という地域特性を活かして、空き店舗にジーンズやデニム製品の販売店を誘致することで商店街の再生を図った。現在では家族連れ、カップルなどのジーンズファンをはじめ観光客等が年間約14万名も訪れている。しかし、街区には休憩や食事をとれる場所が少ないため、新たな魅力づくりと回遊性向上のための事業を実施した。

実施した事業の概要

平成26年10月18日～26日の土日を中心に複数のイベントを集中開催。期間中は、来街者にデニム生地を型抜きした葉に絵を描いてもらい、それを葉のない生木に取り付けた「デニムの木」5本を街区に装飾し、来街を促進した。

①デニムアート展：展示会場となる空き店舗の外観をデニム生地で装飾、夜間はライトアップで集客した。会場内にはデニム加工の技術を結集した作品を展示し、ジーンズの加工工程の紹介ビデオも放映。また、地元カメラマンがデニム職人を撮影したフォト作品を空き店舗のシャッターに貼り付けて展示したほか、ストリートの入り口付近の芝生広場には、デニムの加工が体験できるコーナーを開設。オリジナルのデニムポーチ作りを楽しんでもらった。

②ストリートライブ：ストリート中央のポケットパークでライブ演奏を行い、地元のミュージシャン10組以上が出演。また、テントの横幕に張ったデニム布を巨大なキャンバスに見立て、アーティストがペイントアートを実演し、来場者を楽しませた。

③フードコート：街区内に屋台5台と休憩コーナー（パラソルと椅子）3セットを設置。屋台のメニューは、児島のB級グルメ「タコ塩焼きそば」のほか、ジーンズをイメージさせるデニム色のソフトクリームや大福、ポップコーンなど。デニム生地を屋台のサイズに合わせ、屋根部分の幌と平台部分のエプロンを作り、それに女性部のメンバーがイラストを描いて来街者の目を惹いた。



成果と成功の要因

当ストリートには、食事や休憩出来る場所が少ないため、家族連れなどが時間を持て余し、商店街内をくまなく回遊してもらえずにいた。しかし今回は、フードコート（屋台）の設置、音楽イベントの開催、体験型施設の設営により、滞在時間を30分以上延ばすことができた。また広報活動は、当組合のホームページにイベントページを追加したほか、地元市民グループやアーティスト、クリエイター集団と連携し、Facebook等で本事業や商店街の情報を発信してもらい、地域住民だけでなく、市外からの来場者も引き付けられるようにした。これらに、同期間に開催されていた「せんい児島瀬戸大橋まつり」の相乗効果もあって来場者数は約6,000名を集め、観光客や地域住民に児島ジーンズストリートを知ってもらうきっかけにできた。

今後の取り組み

地域住民や団体と協力して今回の事業を実施した事で、「街の発展」という思いを共有し、地域とのつながりを強くすることができた。事業終了後、次回のストリートライブやデニムアート等への問合せや参加の申し出を既に受けており、規模は小さくても定期的にイベントを開催し、賑わいを継続していくこととしている。資金の手当では、補助金に頼らずに開催できる基盤づくりとして、地域団体や事業者からの協賛金のほか、当組合で収益事業を立ち上げることも予定している。